

三重県史

資料編 近世 2

目次

凡 序 口
例 繪

綜合解説・史料所蔵者等一覽

第一章 桑名藩

57

第二章 忍藩

191

第三章 長島藩

201

第四章 菰野藩

207

第五章 郡山藩

261

第六章 幕領

267

第七章 吹上藩

297

..... 1

第八章	一宮藩	327
第九章	神戸藩	349
第一〇章	龜山藩	389
第十一章	津藩	525
第十二章	久居藩	663
第十三章	名張藤堂家	715
第十四章	伊勢神宮領	751
第一節	神宮の支配機構	752
第二節	江戸時代初期史料	931
第十五章	鳥羽藩	963
第十六章	紀州藩	1041
	資料提供者および協力者	1137
	あとがき	1139

付 表

近世領主等一覧	(2)
---------	-----

付 録

所領図(近世中期)

口 絵 目 次

1	徳川將軍へ年礼参上諸国寺社方御能許覽図	8	徳川吉宗領知朱印状(史料65)
2	鳥羽城鳥瞰図	9	幕府領知目録(史料66)
3	長島城郭図	10	一宮藩主加納久周遺言状(史料61)
4	龜山城郭図	11	久居藩家中法度(史料167)
5	津城郭図	12	名張藤堂屋敷
6	山田奉行所附近細見図	13	孤野藩主土方家墓所(見性寺)
7	桑名藩主松平定綱像(松平定信写)		

細目次

第一章 桑名藩

1	前期の久松松平家家譜	61
2	奥平八郎左衛門由緒書	76
3	久徳隼人由緒書	78
4	松平定綱家中への掟	80
5	松平定良家中への掟	87
6	松平定重家中への定	88
7	奥平松平家家譜	89
8	加藤家由緒書	109
9	文政五年桑名藩分限帳	119
10	後期の久松松平家家譜	128
11	財政改革につき達	132
12	文政六年所替につき公私覚書一	156
13	文政六年所替につき公私覚書二	171

14	桑名城入代り人数・武具員数	179
15	桑名城請取渡上使の記録	185

第二章 忍藩

16	武蔵忍松平家家譜	193
17	勢州領郡代就任家臣の勤書	195
18	年貢取納高・払高と家中人数	196

第三章 長島藩

19	幕府領知目録	203
20	幕府領知目録	204
21	幕府領知目録写	205

第四章 菰野藩

22	土方家系図	209
23	諸役人任免記録	222
24	慶応二年菰野藩分限帳	252

第五章 郡山藩

- 25 徳川吉宗領知朱印状写……………享保十二年閏正月二十一日……………263
 26 幕府領知目録写……………享保十二年閏正月二十一日……………263

第六章 幕領

- 27 享保九年江戸金蔵より請取金銀の支払勘定帳……………享保十年十月……………269
 28 享保十年信楽代官所勘定目録……………享保十一年八月……………271
 29 延享四年江戸金蔵より請取金銀の支払勘定帳……………寛延二年二月……………279
 30 宝暦四年信楽代官所勘定目録……………宝暦五年十二月……………282

第七章 吹上藩

- 31 下野吹上有馬家家譜…………………………299
 32 紀州藩奉行人給知目録……………正保三年八月……………309
 33 紀州藩奉行人給知目録……………承応二年七月……………310
 34 紀州藩奉行人給知目録……………寛文十二年十月……………310
 35 紀州藩奉行人給知目録……………延宝六年三月……………311
 36 紀州藩奉行人給知目録……………宝永五年八月……………311
 37 徳川吉宗領知朱印状写……………享保十二年閏正月二十一日……………311
 38 幕府領知目録写……………享保十二年閏正月二十一日……………312
 39 徳川家治領知朱印状写……………宝暦十一年十月二十一日……………313
 40 幕府領知目録写……………宝暦十一年十月二十一日……………314
 41 徳川家斉領知朱印状写……………天明八年三月五日……………315
 42 幕府領知目録写……………天明八年三月五日……………315
 43 幕府領知目録写……………安政二年三月五日……………317
 44 家中跡目・格式の定書写……………安永二年正月……………318
 45 江戸藩邸震災時出精につき褒美の達書写……………(安政三年)二月……………322
 46 養子許可と勤向きにつき申渡写……………(安政四年)五月……………322
 47 精勤につき拝借金返済延納を認める達書写……………(安政四年)十二月……………323
 48 勢州三郡領分代官兼帯任命書写……………(文久元年)七月……………324
 49 勢州代官所へ勤番の達書写……………(元治元年)十一月……………324
 50 林崎役所へ勤番の達書写……………(慶応元年)五月……………325
 51 勢州領分用向取扱い等につき褒美の書状写……………(慶応元年)十二月二十八日……………325
 52 勢州表勤番につき賞詞写……………四月……………325
 53 勤務出精につき加増等達書写……………八月……………326

第八章 一宮藩

54	上総一宮加納家家譜……………	329
55	紀州藩士加納角兵衛勤書……………	342
56	紀州藩奉行人給知加増目録……………	345
57	紀州藩奉行人給知加増目録……………	345
58	紀州藩奉行人給知加増目録……………	345
59	徳川吉宗領知朱印状……………	346
60	幕府領知目録……………	346
61	加納久周遺言状……………	347

第九章 神戸藩

62	石川総長書簡……………	353
63	石川総長書簡……………	353
64	石川総長茂家中への達……………	353
65	徳川吉宗領知朱印状……………	354
66	幕府領知目録……………	354
67	徳川家重領知朱印状……………	355
68	幕府領知目録……………	355
69	本多家系譜覚……………	357
70	神戸への下知状……………	360
71	寺社への定……………	362
72	神戸引越に際し家中への掟……………	362
73	本多忠統神戸へ国替の記録……………	364
74	東海道往来道中請負一札……………	371
75	享和三年の儉約令……………	373
76	信楽代官の御囲米改め……………	375
77	寛保元年神戸藩分限帳写……………	378
78	文化七年神戸藩分限帳写……………	380
79	本多忠統給知目録……………	384
80	本多忠興給知目録……………	384
81	本多忠興給知加増目録……………	384
82	本多忠齋給知目録……………	384
83	本多忠齋給知目録……………	385
84	本多忠齋給知加増目録……………	385
85	本多忠升給知目録……………	385

86	本多忠升給知加増目録	天保三年正月十一日	385
87	本多忠寛給知目録	天保十一年九月二十日	386
88	本多忠寛給知加増目録	弘化二年正月十一日	386
89	本多忠寛給知加増目録	弘化五年三月十二日	386
90	本多忠寛給知加増目録	嘉永六年正月十一日	386
91	本多忠寛給知目録	嘉永六年十月一日	387
92	本多忠貫給知目録	安政四年四月二十六日	387
93	本多忠貫給知目録	安政四年四月二十六日	387
第一〇章 亀山藩			
94	石川忠総死去につき条々	慶安三年十二月二十四日	393
95	家中領分の心得につき覚	慶安四年十二月十三日	394
96	亀山引越につき申渡	(慶安四年)九月二十七日	394
97	家中役儀につき覚	(慶安四年)十二月二十八日	395
98	家中役儀につき定	(承応三年)十二月二十八日	395
99	石川昌勝留守中の定	万治元年十一月十一日	396
100	留守中の他出につき掟	万治元年十一月十一日	396
101	家中催合につき掟	万治三年十一月十一日	397
102	亀山より山城国淀へ所替記録	寛文九年五月三日	398
103	徳川家綱領知朱印状写	寛文九年八月三日	412
104	徳川綱吉領知朱印状写	貞享元年九月二十一日	412
105	勢州亀山御城米勘定目録	天和二年八月	413
106	亀山城米錢請取につき覚書	寛文九年四月	414
107	亀山・鳥羽申合覚帳	(宝永七年)	419
108	亀山諸事仰せ出されの覚	(宝永七年)正徳五年)	427
109	伊勢国・備中国のうち郷村高辻帳控	延享三年	446
110	近江国守山宿における朝鮮通信使御馳走の心得・勤方	(寛延元年)三月	450
111	石川総紀家督相続につき家中心得達	(天保四年)四月二十八日	454
112	奏者番秘録	(天保二年)	455
113	上ヶ米容赦及び儉約励行すべき書付	寛延二年正月九日	477
114	肝煎御用懸へ借用心得につき覚		482
115	勝手向難洪につき家中儉約書付	宝暦九年正月十九日	483
116	儉約・分掛けにつき御意の趣	宝暦十年七月十九日	485
117	家中困窮につき諸士儉約書付	明和五年十二月一日	491
118	家中心得	文化十二年四月二十五日	494
119	上方御借用年符記	明和五年二月	504

120	丑年御借用高仕出	安永十年二月	507
121	四組名頭知行高歳附	寛保元年	517
第一章 津 藩				
122	徳川家綱領知判物写	寛文四年四月五日	529
123	幕府領知目錄写	寛文四年四月五日	529
124	徳川綱吉領知判物写	貞享元年九月二十一日	530
125	藤堂家系譜		531
126	津藩状況概要	(宝永六年)	536
127	津城内外概況	弘化二年	556
128	高猷代津藩分限帳	安政六年	576
129	家中役人座席寛	宝永六年	608
130	藤堂仁右衛門由緒書	宝曆八年九月	609
131	藤堂内匠由緒書		613
132	藤堂采女家系譜		616
133	西島八兵衛由緒書	安永五年四月十五日	626
134	内海左門由緒書	享保十年十一月十五日	630
135	藤堂高久、四郎右衛門組士申付状	寛文十二年八月九日	633
136	家中軍役覚		634
137	藤堂家中旌旗図		635
138	伊賀附諸手人数定		644
139	使番心得		647
140	伊賀方一二の出人数定		647
141	召仕うべき者心得	正月二十一日	652
142	藩主心得につき論書	正月十八日	652
143	鉄砲頭等心得につき仰渡書	慶安三年八月二十三日	653
144	伊勢・伊賀家中へ仰渡書	寛文九年閏十月六日	654
145	津城三門通行の掟		655
146	上野城門通行の掟	慶安四年正月二十七日	657
147	津城外番所の定		657
148	津城下川口番所の定		660
149	公儀供連書付につき伝達	元禄十二年九月二十七日	660
150	用金の嗜無き者下行金仰せ	延宝八年十月二十一日	661
151	知行高による下行金の覚	延宝八年十月二十一日	662

第二章 久居藩

152	藤堂高豊諸大夫成官物目録	享保十四年二月	667
153	藤堂高堅遺物目録	(正徳四年七月)	668
154	藤堂高堅遺言状	(正徳四年七月)	669
155	家督相続につき津藩との折衝通知書	(享保十三年)四月十五日	670
156	津藩当主への移籍につき藤堂高治申渡状	(享保十三年)四月二十日	670
157	藤堂高梁隠居及び高興家督相続の申達	(安永四年カ)九月十二日	671
158	藤堂高衡への家督相続準備申達	(安永六年)三月二十七日	672
159	藤堂出雲家当主への対応方法につき返答	安永九年五月九日	672
160	出雲家当主への対応方法につき申達	安永九年五月九日	672
161	藤堂高衡急死につき対応相談書上	(天明元年)十一月二十一日	673
162	藤堂高衡急死につき藤堂高轟への家督相続の申達	(天明元年)十一月二十三日	674
163	藤堂高轟への家督相続決定通知	(天明元年)十二月十一日	674
164	藤堂高邁への家督相続につき藤堂高允申渡状	(享和二年二月)	675
165	藤堂高栴への家督相続願	文政元年十二月十一日	675
166	甲州川御手伝普請につき金子工面の報告書	(安永四年)七月九日	676
167	久居藩設立時の家中法度	寛文九年閏十月	678

168	財政難につき心得条々	十一月十四日	679
169	家中貸付金融通につき指令書	十二月十五日	680
170	久居詰金管理につき指令書	享保十八年九月	680
171	久居詰金取出につき指令書	享保二十年七月十一日	681
172	藤堂高梁の隠宅金工面につき願書		681
173	津藩より服部竹介家老役仰付につき書状	九月二十二日	681
174	久居藩分限帳		683

第三章 名張藤堂家

175	津藩より名張当主隠居の指令	享保二十年五月二十六日	717
176	津藩より名張新当主に対する享保騒動直後の指令	(享保二十年)五月二十五日	717
177	津藩より名張家中への享保騒動直後の指令	(享保二十年)五月二十五日	717
178	津藩より享保騒動の処置の指令	(享保二十年)五月二十五日	718
179	家来に対する仕置・心掛の申渡		718
180	藤堂長徳家督相続御礼参津時の賞書	文政十三年八月	719
181	上野にての家中心得等領内規定覚書	文政五年八月	742
182	漁場留川等領内規定覚書	文政五年八月	745

第四章 伊勢神宮領

第一節 神宮の支配機構

183	内宮由緒覚書……………	文化十三年正月……………	755
184	内宮長官交代時の手続き……………	弘化元年四月……………	766
185	内宮長官家の諸役人……………	安永六年十月……………	807
186	宮中法式の大概……………	慶安五年九月二十四日……………	810
187	伊勢神宮天和服仮令……………	天和三年六月……………	812
188	神宮禁河の制に関する返答書……………	明和七年閏六月二十二・二十三日……………	816
189	山田奉行初入時の勤方日記……………	天明六年三〇五月……………	817
190	山田奉行所組頭勤務条目写……………	……………	860
191	山田奉行の名称に関する記録……………	宝永五年十月……………	864
192	御朱印改参府勤記……………	天保九年三〇五月……………	867
193	江戸年頭礼記録……………	天保九年十二月〇十年正月……………	900
194	京都年頭礼記録……………	天保十年正月……………	920
195	紀州藩・鳥羽藩との賀状交換……………	天保十年正月……………	926
第二節 江戸時代初期史料			
196	宇治会合年寄家申合せの条々……………	慶長七年四月……………	932
197	讓渡の護摩堂を世古坊と改称の証文写……………	慶長八年五月……………	933
198	世古坊の道者讓渡の証文写……………	慶長八年五月……………	934
199	斎宮村神領年貢・役儀等の請書写……………	慶長十六年九月十九日……………	934
200	風宮穀屋大日坊神慮に背くにつき嘆願書……………	元和五年八月二十二日……………	935
201	風宮穀屋大日坊取壊しにつき証文……………	元和五年八月……………	936
202	河崎町より町の負担につき訴状写……………	元和五年八月……………	936
203	風宮穀屋大日坊詫状……………	元和十年二月二十一日……………	937
204	山田の支配につき幕府老中奉書写……………	寛永元年三月六日……………	938
205	公事訴訟の場にての定写……………	寛永三年六月七日……………	938
206	赤座土佐守の師職につき山田三方教許状写……………	寛永五年十月六日……………	939
207	神宮造替料につき岡田善同申入れ状写……………	四月五日……………	940
208	土地売買出入につき岡田善同教許状……………	寛永七年六月二十九日……………	941
209	七所別宮遷宮につき岡田善同書状……………	六月十五日……………	941
210	師職の定……………	寛永八年七月二十日……………	942
211	花房幸次より山田三方への掟……………	(寛永九年)五月二十七日……………	942
212	伊雑宮社領回復につき願書……………	寛永十年六月……………	943
213	参宮客をめぐる外宮師職横暴につき言上書写……………	寛永十一年六月二十一日……………	943
214	参宮客をめぐる外宮師職の横暴の覚……………	寛永十一年六月二十一日……………	944

215	内宮・外宮争論につき家光朱印状写	寛永十二年七月二十八日	946
216	参宮人取扱につき花房幸次の覚書	寛永十二年九月二十七日	947
217	伊勢神宮服仮令	寛永十三年三月	947
218	朝熊・鹿海領境界争論の裁許状	寛永十三年十一月十五日	949
219	道者譲渡の証文写	寛永十四年九月	950
220	残しおく道者の証文写	寛永十四年十月十八日	950
221	前山の山年貢免除の幕府老中奉書写	(寛永十六年)九月十一・十七日	951
222	山田町等の下馬についての定写	寛永十七年四月二十八日	952
223	坂喜右衛門と長屋村の出入につき裁許状	寛永十七年七月六日	954
224	坂喜右衛門と長屋村の出入につき裁許状	寛永十七年七月六日	955
225	宮中無作法の覚書写	寛永十八年三月二十三日	956
226	宮中の定写	寛永十八年四月十一日	958
227	宮中掟写	寛永十八年四月二十七日	959
228	地下人神慮を恐れざる行為につき言上書写	寛永十八年十一月	960
229	楠部・尾崎両郷と中村の境界争論の裁許状写	寛永十九年七月二日	961
230	三津・山田原領境界争論の裁許状写	寛永二十一年十二月七日	962

第一章 鳥羽藩

231	松平乗邑の鳥羽帰城・在城・龜山転封	(宝永二〜七年)	967
232	領知添目錄の写	宝永七年十二月十八日	988
233	龜山入替道中の記	(宝永七年)五月	989
234	徳川吉宗領知朱印状	享保三年五月十一日	991
235	幕府領知目錄写	享保三年五月十一日	991
236	戸田家系譜		993
237	戸田光慈事跡	正徳二年〜享保十一年	995
238	淀・鳥羽入替の記録	享保三年二月	1000
239	稲垣昭史遺言状	安永二年七月	1009
240	稲垣長以より書付譲り状	寛政六年十一月	1029
241	転封時の番所飾り置の火繩目錄	(享保十一年)三月二十一日	1030
242	転封時の佐田煙硝蔵の合薬目錄	(享保十一年)三月二十一日	1030
243	転封時の三階櫓の鉄砲目錄	(享保十一年)三月二十一日	1031
244	転封時の三階櫓の鉄砲・道具目錄	(享保十一年)三月二十一日	1032
245	転封時の本丸の玉合葉等の目錄	(享保十一年)三月二十一日	1033
246	転封時の番所に飾り置く武具目錄	(享保十一年)三月二十一日	1034

247	転封時の北土蔵武器目録	(享保十一年)三月二十一日	1086
248	転封時の月見櫓武器馬具目録	(享保十一年)三月二十一日	1088
第一六章 紀州藩				
249	水野忠央ほか知行書上	弘化四年	1045
250	紀州藩奉行人給知目録	寛永八年三月	1080
251	水野家家譜		1081
252	久野宗俊遺言状	正月	1086
253	久野家家臣起請文		1087
254	久野千松幼少につき紀州藩家老宛覚	(貞享三年)五月二十六日	1087
255	千松の義依頼につき久野宗俊書状	七月	1088
256	水野忠啓養子につき往復書状一	六月十五日	1089
257	水野忠啓養子につき往復書状二	閏六月三日	1100
258	久野宗俊下向につき定	天和二年	1100
259	久野宗俊家訓		1106
260	御用人ほか諸役人への達控	文化五年〜嘉永元年	1108
261	御金方御借財帳		1111
262	遠州越旧家当時存在の家の記	天保十五年六月	1113
263	遠州越旧家当時亡家の記	(天保十五年六月)	1119
264	紀州藩家老三浦家より松坂郡役所への書付	享保七年〜寛保元年	1123
265	杉田組小入用帳	天明四年九月	1130
266	杉田組蔵屋敷并廻り地池敷書	天保九年八月	1132
267	紀州藩鷹場につき覚		1133
268	紀州藩鷹場久野家借用につき書状	(延宝元年)十一月二十一日	1134
269	大野伝右衛門家系図		1135